

三期生合格・内定体験記～後輩たちへのメッセージ～

◇ 立命館大学 産業社会学部 現代社会学科

文理科(大隅中出身)

私が受験を意識し始めたのは、2年生になってからでした。はじめのうちは、苦手教科を克服しようとしていましたが、伸び悩み、徐々に得意教科に集中するようになりました。

私の得意教科・科目は、国語と世界史でした担任の先生から「**偏差値60から武器になる**」と言われていたので、まずは60以上を安定させるようにしました。国語は先生方に相談してプリントを週2、3枚、2年生の6月頃からセンター試験直前まで続けました。2年生のうちは、現代文の記述力を身につけるために要約などを含む問題を解き、ある程度安定してきたので、3年生からは古典・漢文を取り組みました。世界史は基本的にテスト範囲までのノートを全て書き写しました。流れを頭にたたき込むことが目的です。テスト後にもう1回通ります。3年生の夏まで続けていたので、**訂正だけで10時間近くかかることもあり**ました。

この2つの教科・科目の成績をかなり安定させることができ、余裕が生まれてきました。そこで、3年生の10月頃には私立大学を第一志望にすることに決め、そこから本格的に受験対策を始めました。私立大学の一般入試はセンター試験とはかなり内容も難易度も異なりました。

ちなみに本気に受験勉強を始めてからは、夜の2、3時に起床して約3時間勉強し、休み時間や昼休みで1時間強、帰宅して約2時間勉強して21時過ぎには寝るという生活を送っていました。土日は10～12時間は勉強するようにしていました。このペースに慣れると、キツさも感じず、勉強をスムーズにできるようになりました。

これから受験に取り組む皆さん、志望校を検討するときは早めに様々な大学や学校に目を向け、試験内容や難易度を確認してください。また、自分の受験勉強のスタイルをいち早く身につけて、頑張ってください。応援しています。

◇ 鹿児島看護専門学校 普通科(輝北中出身)

私は、病気や怪我で苦しんでいる患者様を笑顔にし、病院を利用するすべての方々から信頼されるような看護師になりたいと思い、看護学校への進学を考えていました。はっきりと決めたのは3年生になってからでした。正直、**2年生の冬から試験対策をしていたクラスの公務員組の取り組む姿**を見ていて、**焦り**を感じていました。その姿が自分にとって刺激となり、自分も頑張ろうと思いました。

鹿児島には多くの看護の専門学校があり、どの

学校をめざすかとても迷いました。そこで、オープンキャンパスにいくつか参加し、パンフレットなどでは分からない学校の雰囲気を感じることができました。また、各学校の違いを比較することができました。

私は、指定校推薦を頂き、受験しました。内容は、小論文と面接でした。特に小論文は何を書いているか分からず悩むことが多くありました。面接ノートをつくり、志望動機については担任の先生に何度も添削をしてもらいました。面接練習は、教科担任の先生にいただき、たくさんのアドバイスをもらいました。また、小論文や面接のために、医療系のニュースの新聞の切り抜きを行い、医療系の知識を増やしました。

試験当日は、今まで自分がやってきたことを信じて落ち着いて臨むことができました。面接では、予想していなかった質問もありましたが、**焦ることなくしっかりと受け応えをすることができました。考えている自分の軸がしっかりしていれば、どのような質問にも対応することができると**思えました。

後輩の皆さん、積極的にオープンキャンパスに参加し、自分に合った学校を探してください。また、面接練習では、自分に自信がつくまで練習をしてください。志望校合格に向けて頑張ってください。

◇ トヨタ車体株式会社 機械電子科(末吉中出身)

小さい頃から、自動車が好きで、本校の機械電子科に入学し、知識や技術を身につけてきました。進路を決める時期になって、担任の先生からこの会社を紹介していただき、応募を考えるようになりました。夏休みには工場見学に行き、会社の雰囲気を味わってきました。自分の仕事に誇りと自信をもって働く社員の方々の姿を拝見し、私もこの会社で働きたいと思うようになりました。

受験に向けて力を入れたことは、面接練習でした。今まで、ほとんど人前に出て話をする事のない生活を送ってきたため、自分の気持ちを相手にしっかりと伝えることに慣れておらず、最初は全然できませんでした。しかし、何度も面接練習を繰り返す中で、様々な質問に受け応えできるようになりました。

後輩の皆さん、まだまだ時間があると思わず、少しずつ自分がどこに行きたいか、どんな職業に就きたいかをイメージして、求人票を見てほしいと思います。そして、必ず企業見学を行い、最終的に決めてください。私も進路に向けて、とても悩んだ時期がありましたが、**自分を追い込まず、常にポジティブに物事を考えるようにして気分転換しながら、進路のことを考え、進路に向けて取り組んできました。心の持ち方を大切に**して、進路実現に向けて頑張ってください。